



「安保関連3文書」の閣議決定に反対する人たち 15日、東京・永田町で

防衛費増「国民に負担押しつけるな」

市民ら国会周辺で抗議

敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有や防衛費の増額に反対する市民団体の抗議行動が十五日、東京・永田町の衆院第二議員会館前であり、八百人（主催者発表）が「大軍拡反対」「国民に負担押しつけるな」「税金は社会的弱者のため使え」「閣議決定するな」と声を上げた。「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」と「9条改憲NO！全国市民アクション」の主催。岸田政権は十六日にも反撃能力の保有を明記した安保関連三文書を閣議決定する方針。戦後の安保政策の根本的転換に対し、反対姿勢を明

確にしようと企画した。

実行委の菱山南帆子運営委員は「国会を通さず、ほとんど非公開の話し合いで、国の形が大きく変われることを勝手に決めるなんて、どうかしている。私たちの税金を軍事費に使うことを許してはいけない」と訴えた。

四歳と一歳の娘二人と両親と参加した神奈川県大磯町、フリーライター内海彰子さん（三）は「いつか戦争が起きたとき、あの時に声を上げていれば良かったと後悔したくなかったので駆けつけた。武器で戦争は防げない」と話した。

十六日には首相官邸前で同様の抗議行動が予定されている。

（加藤益丈）